

授業科目名	ソーシャルワーク実習指導	単位数	6単位
担当教員名	堀越由紀子、平雅夫、砂田淳一郎、 矢原絵理、神原由佳	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワーク実習指導について解説する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) ソーシャルワーク実習の意義について理解する。</p> <p>(2) 実習にかかる個別指導および集団指導を通じて、相談援助における具体的な知識や技術を習得する。</p> <p>(3) 社会福祉士として求められる資質や技能、倫理等について、総合的に対応できる能力を身につける。</p> <p>(4) 実践現場において、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術に結びつける能力を身につける。</p>			
授業の概要			
本養成課程の最重要科目である「ソーシャルワーク実習」を有意義かつ有効なものとしていくために、実習の意義、学ぶべき視点、ソーシャルワーク現場での具体的な業務の内容とそこでの視点について、個別指導を中心に学ぶことを目的とする。			
授業計画			
<p>第1回：ソーシャルワーク実習の意義</p> <p>第2回：ソーシャルワーク実習の目標</p> <p>第3回：現場実習としてのソーシャルワーク（1）</p> <p>第4回：現場実習としてのソーシャルワーク（2）</p> <p>第5回：援助関係形成のための基本的理解</p> <p>第6回：ソーシャルワーク実習の確認事項（1）</p> <p>第7回：ソーシャルワーク実習の確認事項（2）</p> <p>第8回：実習先オリエンテーション（事前訪問）</p> <p>第9回：相談援助実習の心得</p> <p>第10回：ゲストスピーカー（施設で働く実習指導者の話を聴く）</p> <p>第11回：ソーシャルワーク演習における利用者の人権尊重</p> <p>第12回：ソーシャルワーク演習における倫理</p> <p>第13回：ソーシャルワーク演習におけるスーパービジョン</p> <p>第14回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（1）</p> <p>第15回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（2）</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
ソーシャルワーク実習と学ぶ事により、様々な問題を抱える人や社会に対し人と人、人を環境を繋げ、効果的な解決策を考えていく。このプロセスを通して、自律的な課題探求能力を身につけていく事を目的とする。			
テキスト			
なし			
参考書・参考資料等			
適宜紹介する。			
学生に対する評価			
評価基準の詳細については、通常の科目と異なるため別途説明する。			